

魚が行き交う根尾川へ
共存への道探り続ける

床固工での
週上を助ける
魚道整備

舞本 地盤的なことから
 大川が流れる山麓に
 川では、川底の砂が削
 られるの防く、床固工
 を設けようか」と
 を各所に設置するもの、治水
 事業を行って
 今回は、治水事業で
 場が変わる上川に隣する
 考えていた」と思いま
 が「うーん、あれは」

原田 床固工の設置で
 「界川」である「根尾
 川の流れが安定した」た
 が「うーん、あれは」

事業の対象となり、以
 て床固工の一部の投資を
 りやすうと、魚が上
 のが「魚金」ぶとれた
 ず。設備は全てで見
 るのも「早く魚の股
 に取り戻した」印象が

藤原 建設会（関土交
 通会）が「うーん、な
 るが防くやうさ川つ
 くり推進する事業を
 展開し、金田川に隣
 ばれた全土川のよう
 の一つが新川川と
 た。その流域の界川も

[illegible]

原田 鳥が魚を狙うには、
絶好の場所ですね。
鯛本 その通りです。魚

は殺れる力も弱っていない。魚は局は知っている。それでは、せめて、潮干しでも尚に食われてしまふ。鰻、鰻式、魚道、鰻殿、状になつて、各局に石を並べてみる。その石を一つに水をきき上げて水乾きの、魚が少しでも休ながらゐるように工夫して見ますが、よく思ひ過ぎる。問題は、あるところ。課題解決のため、後、研究を続けたい。構造的に提議したいです。

工が不安定になる可能性

か変わるのには、当然しか
も川は生き物のように常
に変化しています。だか
らこそお互いが協力し合

[illegible]

市長 鹿嶋市
を目標
氏 × 岐阜大
なまち
木
UGIYAMA

建設事業関係労働者等国土交通大臣表彰 本年度
可能なまちづくりを
 氏 × (国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所所長) 板垣 豊



代表取締役
岐阜県本巣市
http://
★
ESTD 1989
ヨッピー早野
三橋3丁目111

安心・安全な生活を守るため
社会基盤づくりを担っています

本社 〒5101-1524 岐阜県本巣市棚田坂2-59-1
TEL 0581-38-2561 FAX 0581-38-2563
URL <https://tokoro-neo.com>

本社

根尾川

黒川産業

幸博

株式会社 タイヤシ

本社
〒910-0404 岐阜県美濃市
TEL 058-324-9678

市露山美4丁目272-8

〒477 豊地 TEL 058-323-2941 FAX 058-323-5861 豊野314番地06 TEL 0585-32-2623	美濃加茂店 〒505-0021 岐阜県美濃加茂市 TEL 0574-24-7397
---	--



藤原 勉 本巢市長



農学博士 川口昭敬 総合局長

馬淵 和三氏

「写真1」設置前



「写真2」翻田式魚道



「写真3」翻田式魚道



「写真4」翻田式魚道



「写真5」翻田式魚道



「写真6」翻田式魚道



「写真7」翻田式魚道



「写真8」翻田式魚道



「写真9」翻田式魚道



「写真10」翻田式魚道



「写真11」翻田式魚道



「写真12」翻田式魚道



「写真13」翻田式魚道



「写真14」翻田式魚道



「写真15」翻田式魚道



「写真16」翻田式魚道



「写真17」翻田式魚道



「写真18」翻田式魚道



「写真19」翻田式魚道



「写真20」翻田式魚道



「写真21」翻田式魚道



「写真22」翻田式魚道



「写真23」翻田式魚道



「写真24」翻田式魚道



「写真25」翻田式魚道



「写真26」翻田式魚道



「写真27」翻田式魚道



「写真28」翻田式魚道



「写真29」翻田式魚道



「写真30」翻田式魚道



「写真31」翻田式魚道



「写真32」翻田式魚道



「写真33」翻田式魚道



「写真34」翻田式魚道



「写真35」翻田式魚道



「写真36」翻田式魚道



「写真37」翻田式魚道



「写真38」翻田式魚道



「写真39」翻田式魚道



「写真40」翻田式魚道



「写真41」翻田式魚道



「写真42」翻田式魚道



「写真43」翻田式魚道



「写真44」翻田式魚道



「写真45」翻田式魚道



「写真46」翻田式魚道



「写真47」翻田式魚道



「写真48」翻田式魚道



「写真49」翻田式魚道



「写真50」翻田式魚道

「写真51」翻田式魚道

「写真52」翻田式魚道

「写真53」翻田式魚道

「写真54」翻田式魚道

「写真55」翻田式魚道

「写真56」翻田式魚道

「写真57」翻田式魚道

「写真58」翻田式魚道

「写真59」翻田式魚道

「写真60」翻田式魚道

「写真61」翻田式魚道

「写真62」翻田式魚道

「写真63」翻田式魚道

「写真64」翻田式魚道

「写真65」翻田式魚道

「写真66」翻田式魚道

「写真67」翻田式魚道

「写真68」翻田式魚道

「写真69」翻田式魚道

「写真70」翻田式魚道

「写真71」翻田式魚道

「写真72」翻田式魚道

「写真73」翻田式魚道

「写真74」翻田式魚道

「写真75」翻田式魚道

「写真76」翻田式魚道

「写真77」翻田式魚道

「写真78」翻田式魚道

「写真79」翻田式魚道

「写真80」翻田式魚道

「写真81」翻田式魚道

「写真82」翻田式魚道

「写真83」翻田式魚道

「写真84」翻田式魚道

「写真85」翻田式魚道

「写真86」翻田式魚道

「写真87」翻田式魚道

「写真88」翻田式魚道

原田 それは重たを取り
組みだすね。誰から来
るべき石はだんだんに
けしき悪くられて、ま
い、新に流れてくるのは細
か土砂ばかり。意識的
に石を残しておくこと
は、とても大切なこと
と思います。

【監修】
池水と魚の共存
【監修】
研究部門准教授 原田守啓氏 × 【監修】
進行 (根)

代表理事組合長 三宅 隆夫
〒501-1201 岐阜県岐阜市
TEL 0581-34-2211

つたえて、つながるプロジェクト

清流の国 Vol.30
ふるさとを創ろう

～持続可能なまちづくりを目指して～

「清流の国ぎふを創ろう」は岐阜県の持続的な発展に向けた知恵を各市町村が持ち寄り、県内のエリア毎にリレー形式で考える企画です。

後編「治水と魚の共存に挑む根尾川」

野や人の命を洪水から守るために欠かせない治水事業。しかし、そのために造られた構造物は本来の川にはなかったものであり、鮎などの魚の生活に大きな負荷を与えることにもなります。

本集市の南北を流れ、幾度も洪水被害に見舞われてきた根尾川では、「治水と水との共存」にどう向き合ってきたのか。10月31日に掲載された前編に引き続き、藤原聡本集市長、根尾川を管轄する国土交通省中部地方整備局木曽川上流域川事務所の坂垣修所長、岐阜大学流域圏科学研究センターの原田守彦准教授、根尾川の治水事業や魚道整備に携わる山底組取締役会長の馬淵和三氏が集い、意見を交わしました。

(進行 鰐本規之根尾川筋漁業協同組合長)

河原どこからでも上れる棚田式典型を記録。同様の低い堰向流で、各段に配置されたパンプフリーで機能が保持されるよう設計されている（写真提供：山辺組）

があります。床固が不安定に、洪水時の治水果てに、洪水の被害を大きく軽減する。流城に住む人々の命を守るため、床固を必要とするわけはいろいろあります。

藤原 何か解決法はないのですか。

坂垣 集約保存をする立地として、木曾川、黒川、川事務所では、川の採取や河川工事の業務に出し入れの石をはず

坂垣 最初から明確な答えを出るにはあまり早いです。少し試してはありますか。私たちがやっている。そういって進めたい。私も働いていないけれども、これはいいではないでしょうか。まだ聞いていないので、あまの月もたつてを、中略的な活動で取り組んでいくことを理解した上で進みます。

原田 それは事実なのか。それはかなりマシなことだ。ぜひそのことについて話を、第二種環境

二挑む根尾川
 山形組取締役会長) 馬淵和三氏
 若漁業協同組合長) 鈴木寛之氏

FLY
川管理釣り場

開催期間
**11月~
 4月上旬**

専用
 谷汲山大橋下流右岸
 (駐車場) AN2000-0400

(火曜定休)

河原の中 清流根尾川に作った
楽しんでみませんか。
そしてご利用いただけます。
よりますのでお気軽に釣りを楽しめます。

業協同組合

市山口897番地
AX 0581-34-2021 URL <http://neogawa.org>

無断複製・転載を禁じます